

令和 8 年度 桑野スポーツ広場トイレ改築工事

図 番	図 名	縮 尺
A-00	表 紙 ・ 図 面 リ ス ト	—
A-01	建築工事特記仕様書ー 1	—
A-02	建築工事特記仕様書ー 2	—
A-03	建築工事特記仕様書ー 3	—
A-04	建築工事特記仕様書ー 4	—
A-05	建築解体工事特記仕様書	—
A-06	付近見取図・配置図・配置詳細図	1：5000、1：750、1：150
A-07	仮設計画・既存平面図	1：100
A-08	改築工事概要・仕上表・平面図	1：50
A-09	ユニットトイレ 仕様表・平面図・立面図	1：50
A-10	ユニットトイレ 立面図・断面図・基礎伏図	1：50、1：20
A-11	浄 化 槽 図	1：100、1：40
A-12	浄 化 槽 配 筋 図	1：50
A-13	既存ユニットトイレ図	1：100、1：50、1：20
E-01	岡山市建築設備工事（電気）仕様書	—
E-02	電 気 設 備 図（撤去、新設）	1：50
M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	—
M-02	配置図、便槽断面図、給排水撤去図	1：100、1：30
M-03	給排水新設図	1：30

工事名				桑野スポーツ広場トイレ改築工事		No.		(株)エスホ建築研究所	
図面名				表紙・図面リスト		A-00		岡山県知事登録 第12961号	
岡山市				都市整備局		住宅・建築部		公共建築課	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課長補佐		所長		課長	
課長				課					

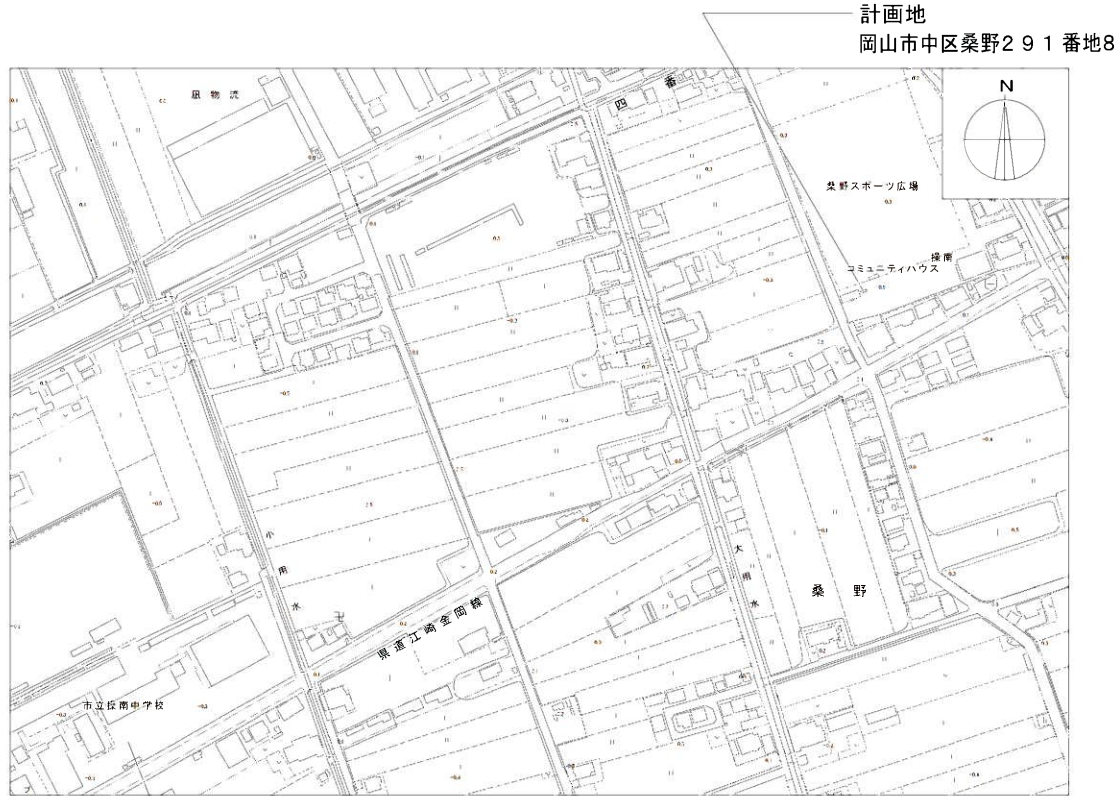
R 0 8 0 4									
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9	10	11	12	13	14	15
9	10	8	9						

[illegible]

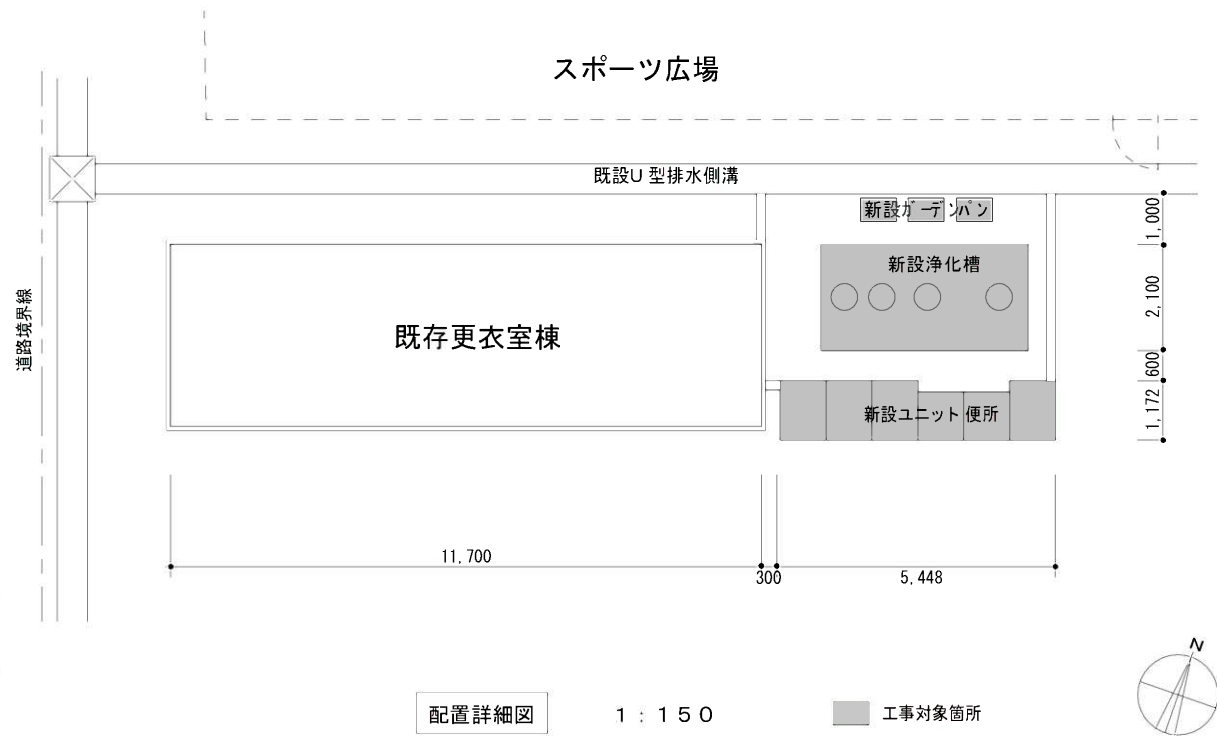
岡山市建築解体工事特記仕様書			9 施工数量調査 〔1. 5. 2〕			調査範囲及び調査方法 ※ 図示 調査報告書 提出2部			1 適用範囲 〔6. 1. 1〕			建築設備に使用されている石綿含有材の処理 ・			1 フロン 〔7. 3. 1〕			フロン類を使用している設備機器 ・パッケージ形空調機等の冷媒 ・ルームエアコンディショナーの冷媒 ・冷凍機の冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ・特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し		
10 技能士 〔1. 6. 2〕			・とび作業（※一級 ・二級）			完成図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要			2 調査 〔6. 1. 3〕			調査 ※石綿含有建材の事前調査 1章 4 による ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリンスタル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 分析対象 分析対象（定性） 分析対象（定量） 材料名 JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2 JIS A 1481-3、JIS A 1481-4又はJIS A 1481-5 ・箇所 ・箇所 ・箇所 ・箇所 ・箇所 ・箇所 材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・図示 ・			2 特定化学物質等 〔7. 3. 1〕			回収及び処分方法 ・		
11 完成時の提出図書			完成図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要			完成図（作図範囲 配置図）（CADデータの提出 ※要 ・不要） 保全に関する資料 不要			3 石綿粉じん 濃度測定 〔6. 1. 3〕			測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 （各施工箇所ごと） ・測定1 処理作業前 処理作業室内 ・計点 ・測定2 調査対象室外部の付近 ・計点 ・測定3 処理作業室内 ・計点 ・測定4 セキュリティゾーン入口 ・計点 ・測定5 処理作業中 集じん・排気装置の排出口 出口吹出し風速1m/sec以下の位置（処理作業室外の場合） ・計点 ・測定6 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 ・計点 ・測定7 処理作業後シート 処理作業室内 ・計点 ・測定8 撤去後1週間以降 調査対象室外部の付近 ・計点 測定方法 ・自動測定器による測定 測定名称 測定方法 ・測定4 ・測定5 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 ・JIS K 3850-1に基づいた測定 測定名称 ・測定4 ・測定5 ・測定6 ・測定7 ・測定8 メンブレンフィルタ直径（mm） 25 47 47 試料の吸引流量（l/min） 5 10 10 試料の吸引時間（min） 30 120 240			3 路床 ＜2.2. 2. 2＞ ＜2.2. 2. 3＞ ＜2.2. 2. 5＞			材 料 ・再生クラッシュラン（G） ・切込砂利及び切込砕石 砂利厚さ ・60mm 適用箇所 ・図示による（ ） 捨コンクリートの厚さ ・50mm 適用箇所 ・基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による（ ） 設計基準強度 ・18N/mm2 スラブ ・15cm ・18cm 路床の材料 ・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示による ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン（G）、クラッシュラン ・切込み砂利・砂厚さは図示による ・フィルター層 ※砂 厚さは図示による 路床安定処理 ・行う ※添加材料による安定処理 種類・普通ポルトランドセメント・フライアッシュセメントB種（G） ・生石灰（・特号 ・1号） ・消石灰（・特号 ・1号） 添加量 kg/m2（目標CBR ※5 以上 ・ ） ・ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m2 以上 厚さ（mm） 0.5～1.0 引張強さ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 透水性係数 1.5×10 ⁻⁶ cm/sec 以上 盛土に用いる材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ※行う ・行わない 路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない 現場CBR試験 ※行う ・行わない		
4 工事内容 1 上記3 工事種目の建築物等の取りこわしを行う 2 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う			2 仮設工事			2 仮設工事			4 路盤 ＜2.2. 3. 2～3＞ ＜2.2. 3. 5＞			除去範囲 ※ 図示 ・ 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）			4 路盤 ＜2.2. 3. 2～3＞ ＜2.2. 3. 5＞			舗装の種類 路盤の厚さ（mm） 路盤材料 車道部 歩道部 ・アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・カラー舗装 ※図示 ※図示 ※再生材のクラッシュラン ・コンクリート舗装 ※図示 ※図示 ※図示 ・透水性アスファルト舗装 ※図示 ※図示 ・透水性コンクリート舗装 ー ※図示 ・インタロックングブロック舗装 ※図示 ※図示 ・転圧コンクリート舗装 ※図示 ー ・コンクリート平板舗装 ー ※図示 ・舗石舗装 ー ※図示 試験 路盤の締固め度試験 ※行う ・行わない		
5 舗装			5 舗装			5 舗装			5 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			除去範囲 ※ 図示 ・ 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）			5 アスファルト舗装 ＜2.2. 4. 2～6＞			舗装の種類 車道部の基層 備 考 ・アスファルト舗装 ・無し ・有り アスファルト ・再生アスファルト（G） ストレートアスファルト 骨 材 ※砕石 ・再生材（G） ・		
6 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			6 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			6 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			5 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			除去範囲 ※ 図示 ・ 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）			5 アスファルト舗装 ＜2.2. 4. 2～6＞			舗装の種類 車道部の基層 備 考 ・アスファルト舗装 ・無し ・有り アスファルト ・再生アスファルト（G） ストレートアスファルト 骨 材 ※砕石 ・再生材（G） ・		
7 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			7 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			7 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			5 石綿含有吹付け材の除去 〔6. 3. 2〕			除去範囲 ※ 図示 ・ 除去工法 ※ 解体共通仕様書6.3.2による 除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）			5 アスファルト舗装 ＜2.2. 4. 2～6＞			舗装の種類 車道部の基層 備 考 ・アスファルト舗装 ・無し ・有り アスファルト ・再生アスファルト（G） ストレートアスファルト 骨 材 ※砕石 ・再生材（G） ・		



配置図 1 : 7 5 0

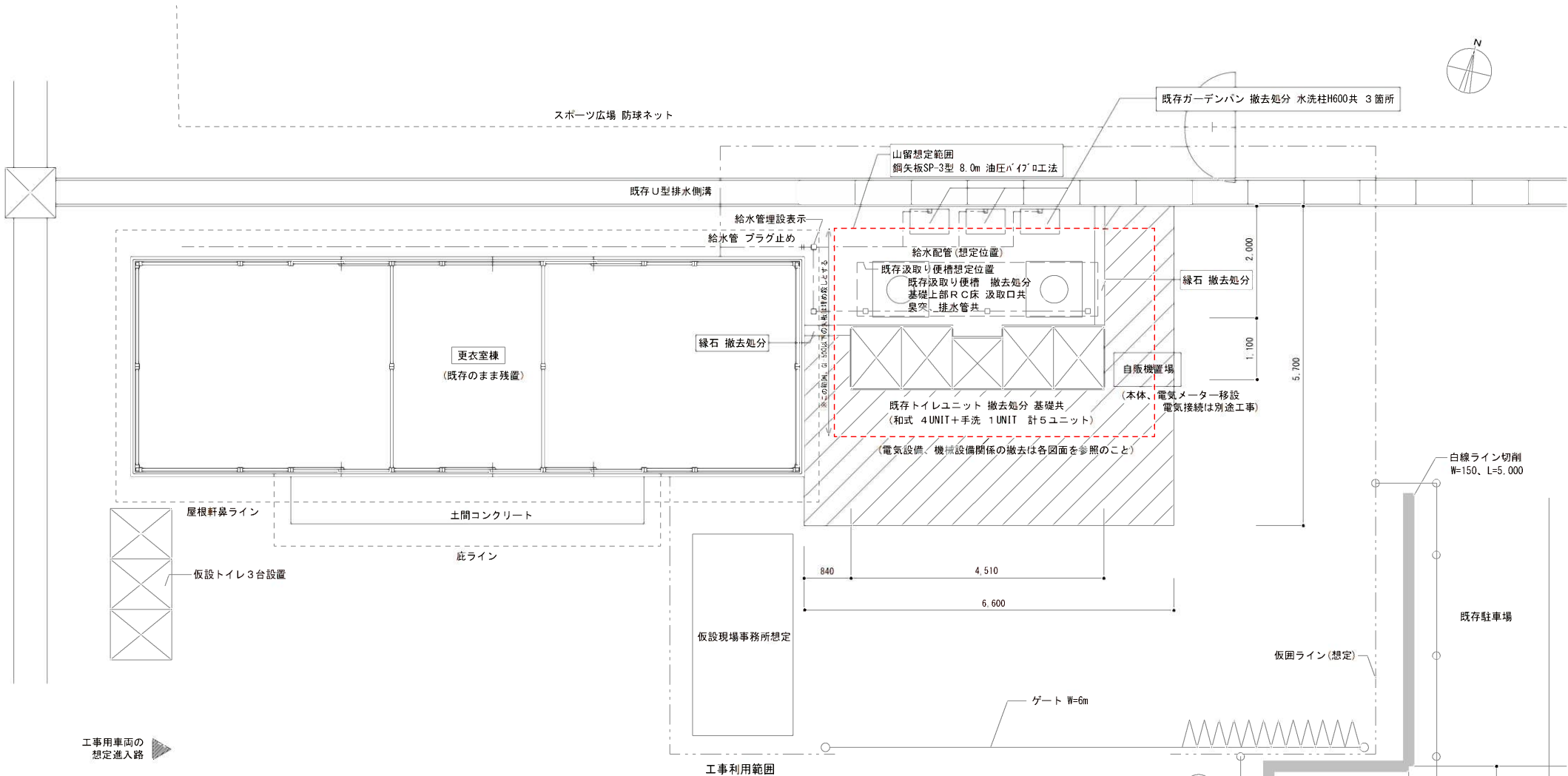


岡山市立操南中学校 付近見取図 1 : 5 0 0 0



配置詳細図 1 : 1 5 0 工事対象箇所

工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事					N o .	A-06 A-13	(株)エスホ建築研究所 岡山県知事登録 第12961号 一級建築士 武田賢治 大臣登録 第176437号
図面名	付近見取図・配置図・配置詳細図					縮尺 1:150、1:750 R 1:5000		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年6月	図面番	承認		
課長	課長補佐	係長	係長	担当者		確認		



■仮設工事仕様一覧

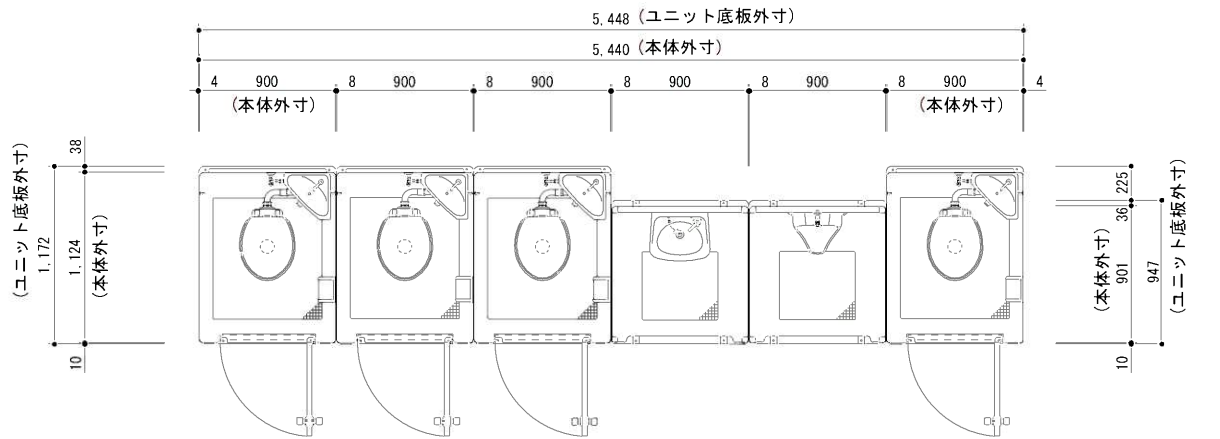
- ・仮囲い H3.0m：単管パイプ φ2.0m 39.1m、防音シート張り
 - ・ゲート：キャスターゲート W6.0m x H1.8m
 - ・警備員、交通誘導員：大型車両搬入時は図示の位置に必ず配置
 - ・コーンバー：カラーコーン H0.7m
 - ・山留：鋼矢板SP-3型(油圧バインド工法) L≒8m 便槽周囲約19m
- ※ 仮設計画図は参考図とし、工事着手時に監督員と協議のうえ、仮設施工計画図を作成し、監督員の承認を受けること。
- ※ 仮設計画で必要になる諸手続き(占用等)は施工者が行うこと。
- ※ 安全確保に必要な対策を充分に検討し、責任を持って自主的に施工すること。
- ※ 備品等の移動は原則施設側で行うが、仮設足場設置や施工に支障をきたす場合、監督員の指示により請負者の負担で移設復旧すること。
- ※ 資材置場、仮設事務所、仮設便所は、監督員と協議のうえ最終決定とする。
- ※ 工事用車両の敷地内への入退車及び資材等搬入出時は、交通誘導員を常駐させ、安全を図ること。また、資材の搬入出時を除き、駐車予定位置以外の駐車場、敷地内及び周辺道路には停めないこと。
- ※ 工事作業時間は原則として午前9:00～午後5:00までとする。
- ※ 必要な場合、仮設足場は枠組足場を原則とし、設置は労働安全衛生法等を遵守し、手摺先行工法により組立解体し、作業床には手摺、中棧、巾木等の機能を有するものを設けること。ただし状況により監督員に確認のうえ、他足場への変更も可。
- ※ 工事完了後、工事で使用した敷地利用範囲を整地清掃すること。

- 山留施工範囲
- アスファルト舗装 撤去
- 駐車場枠白線ライン新設
- 既存駐車場枠白線ライン切削

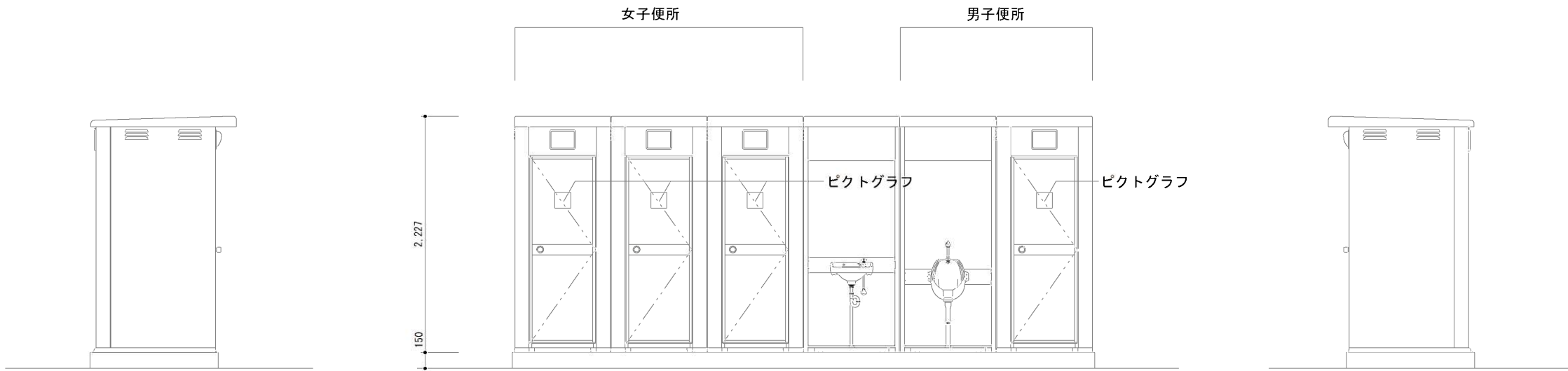
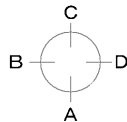
工事名				桑野スポーツ広場トイレ改築工事		No.		(株)エスホ建築研究所	
図面名				仮設計画図(参考)・既存平面図		A-07		岡山県知事登録 第12261号	
岡山市				都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		A-13		一級建築士 武田賢治	
課長		課長補佐		係長		技士		大臣登録 第176437号	
						担当		承認	
								概算	

 ユニット便所（水洗） 日野興業(株)ユニパール同等品

屋 根	不燃材製屋根（ステンレス）
壁パネル	アルミ複合板 t=2.0mm
ド ア	アルミ製ドア
窓	P.P製 押上式
床・土台	FRP製 3プライ 補強材一体成形 アンカーボルト用穴部金属板オーバーレイ補強
衛生器具	陶器製洋風洗落し便器・樹脂製ロータंक そで付き大型手洗器 陶器製壁掛小便器
付 属 品	ワンタッチペーパーホルダー、レセップ
基 礎	コンクリートベタ基礎
その他	ビクトグラフ 平付型□150 7ｸﾘﾙ板t5



平面图 S=1:50

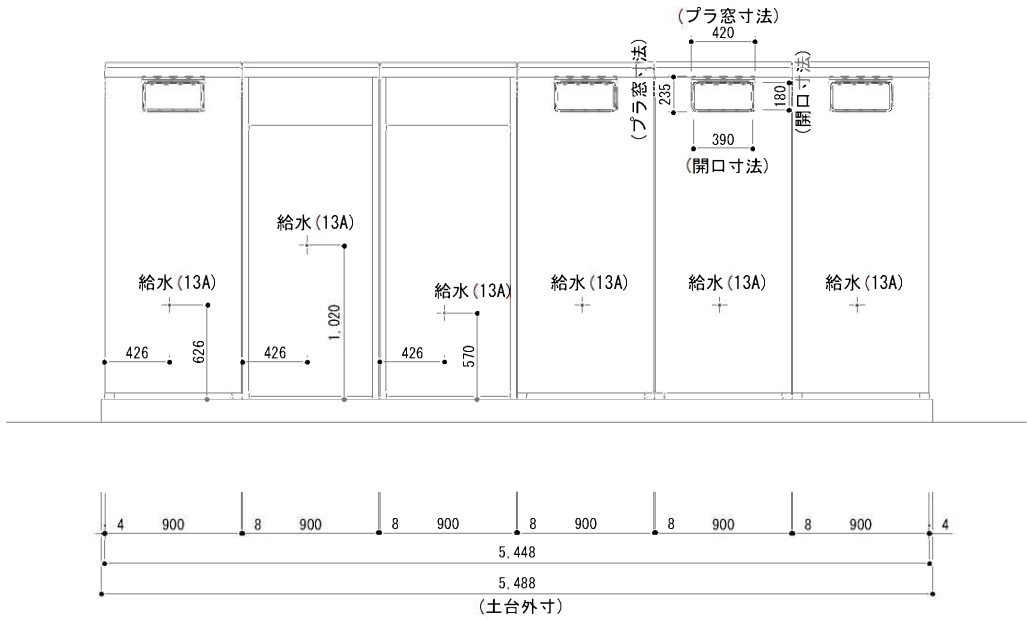


B 立面图 S=1:50

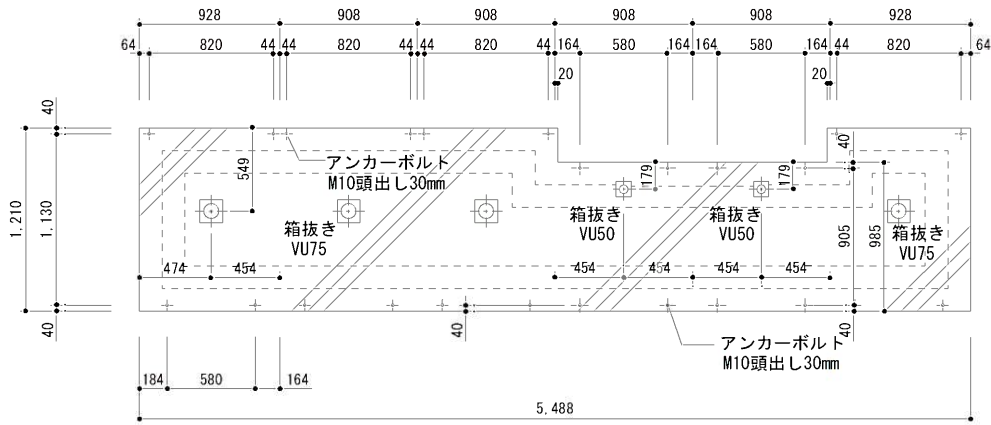
A 立面图 S=1:50

D 立面图 S=1:50

工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事				No. A-09 A-13		(株)エスエ建築研究所 岡山県知事登録 第12961号 一級建築士 武田賢治 大臣登録 第176437号			
図面名	ユニットトイレ 仕様表・平面図・立面図			縮尺						1 : 50
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課										令和 8 年 6 月
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図		

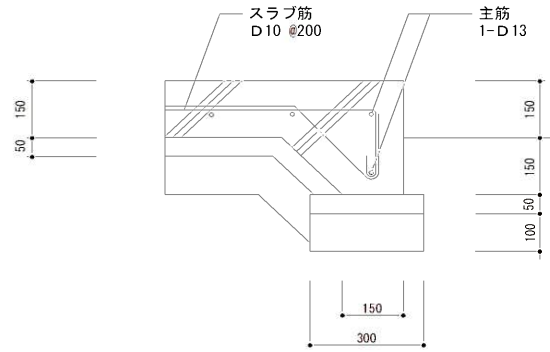


C 立面図 (全体) S=1:50

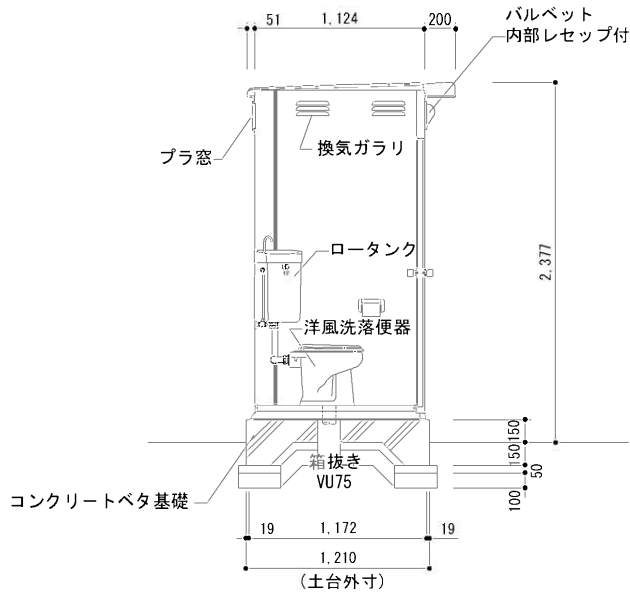


注) 箱抜き寸法 : VU75-150×150、VU50-100×100

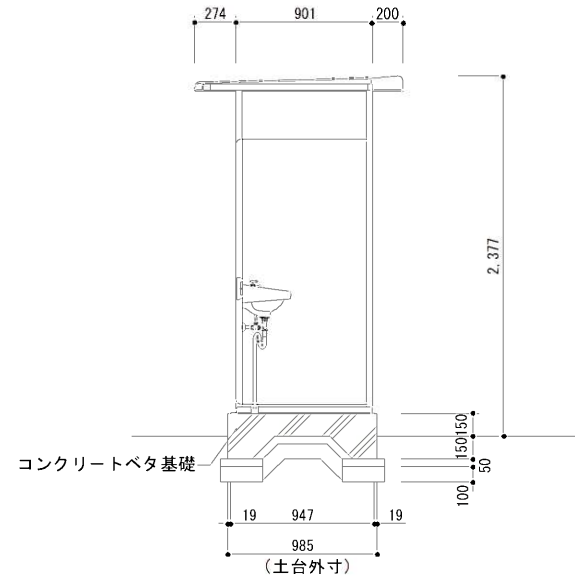
基礎伏図 (全体) S=1:50



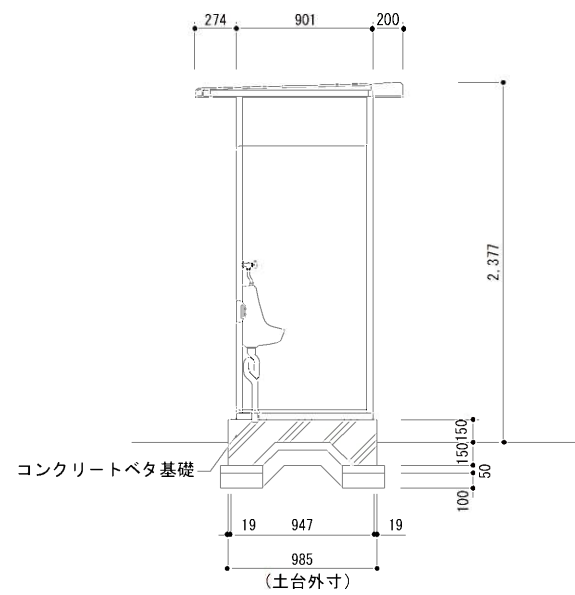
基礎配筋図 S=1:20



断面図 (大便U) S=1:50

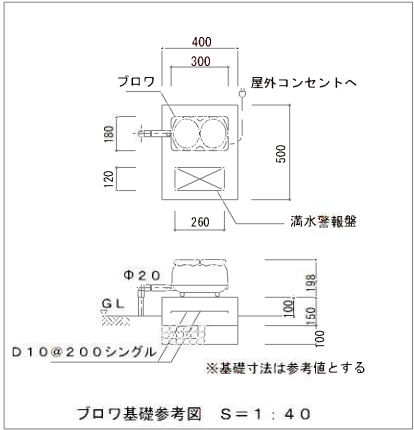
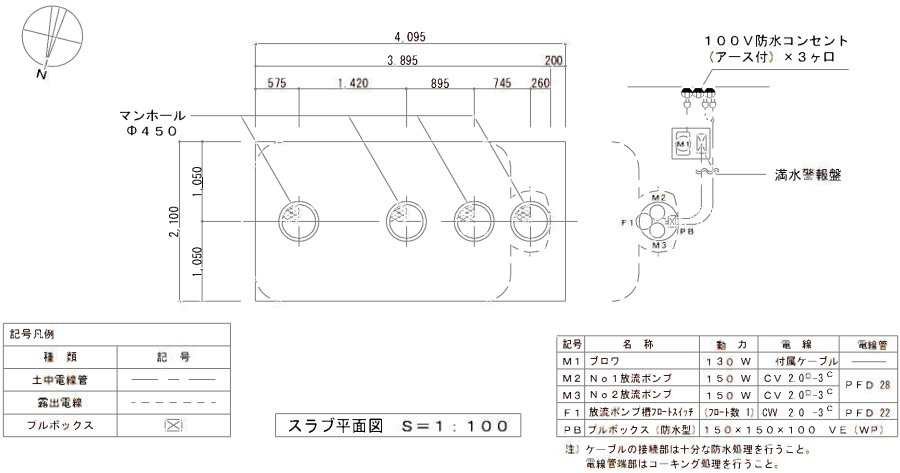


断面図 (手洗U) S=1:50

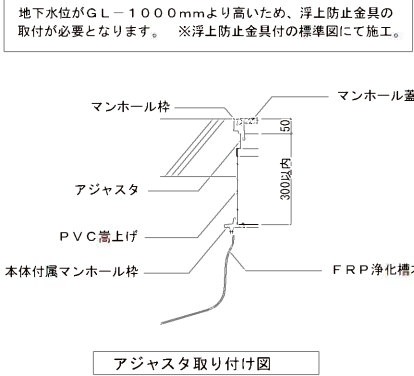
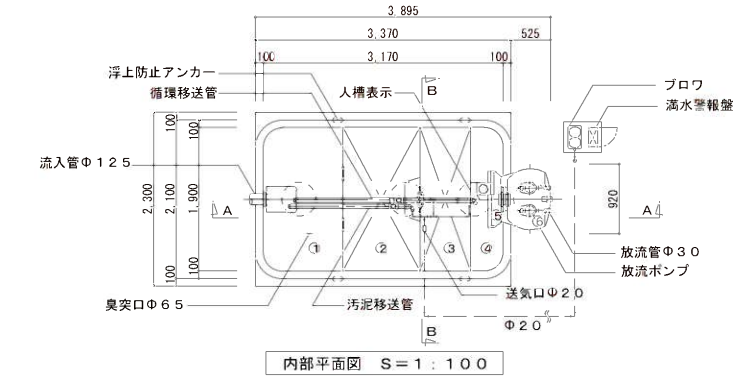


断面図 (小便U) S=1:50

工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事				N o .	(株)エスポ建築研究所		
図面名	ユニットトイレ	立面図・断面図・基礎伏図	縮尺	1:50、1:20	A-10	岡山県知事登録 第12961号		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年6月	A-13	一級建築士 武田賢治		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	



仕 様 表						
設計番号						
処理方式	接触ろ床方式					
型式名称	フジクリーン CV-25 型			※吊上目安重量：540kg		
処理対象人員	25人					
汚水量	5.00m ³ /d					
流入水質	BOD 200 mg/L	COD 100 mg/L	T-N 45mg/L	SS 160 mg/L		
放流水質	BOD 20 mg/L	COD 30 mg/L	T-N 20mg/L	SS 15 mg/L		
① 沈殿分離槽			有効容量	2.375	m ³	
② 嫌気ろ床槽			有効容量	2.375	m ³	
③ 接触ろ床槽			有効容量	1.570	m ³	
④ 処理水槽			有効容量	0.846	m ³	
⑤ 消毒槽			有効容量	0.053	m ³	
⑥ 放流ポンプ槽 (総容量に含まない)			有効容量	0.105	m ³	
総容量			有効容量	7.219	m ³	
機 器 装 置 仕 様						
フロウ	吐出量	口 径	消費電力	運転方式	台数	
	200L/min	φ20	130/150W	連続運転	1	
放流ポンプ	吐出量	口 径	出力	運転方式	台数	
	100L/min	φ30	150W	自動交互運転	2	
槽本体	FRP					
パイプ類	PVC、PPまたはPE					
ろ材	PPまたはPE					
マンホール	PPまたはFRP (500K)					
消毒剤	固形塩素剤					
配管仕様	露出配管 (フロウ廻り)		VP			
	土中配管		φ40以下～VP・φ50以上～VU			
	槽内配管		メーカー仕様			



- 注1) 上部は歩行者荷重とする。
- 注2) 機器電源は単相100V、総電力は430/450W (50/60Hz)、一次側引込電気容量は15A以上とする。
- 注3) 図中の“G.L.”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からフロウまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は浄化槽工事外とし、接続工事は排水設備工事とする。
- 注6) 臭突管工事は別途とする。又接続工事は排水設備工事とする。
- 注7) 電気工事は二次側 (浄化槽制御盤以降) を浄化槽工事とする。一次側 (電気引込) は浄化槽工事範囲外、電気設備工事とする。
- 注8) フロウ付近にアース付きコンセント×3を設置のこと。設置は電気設備工事とする。
- 注9) 外部警報接続工事は工事範囲外とする。
- 注10) 地耐力は40KN/m²以上必要とする。 (実際の工事業者が確認後施工の事)
- 注11) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウエルポイント工事は別途とする。
- 注12) 浮上防止金具、浮上防止アンカー等を設置する。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	VU50
電線管	PFD36

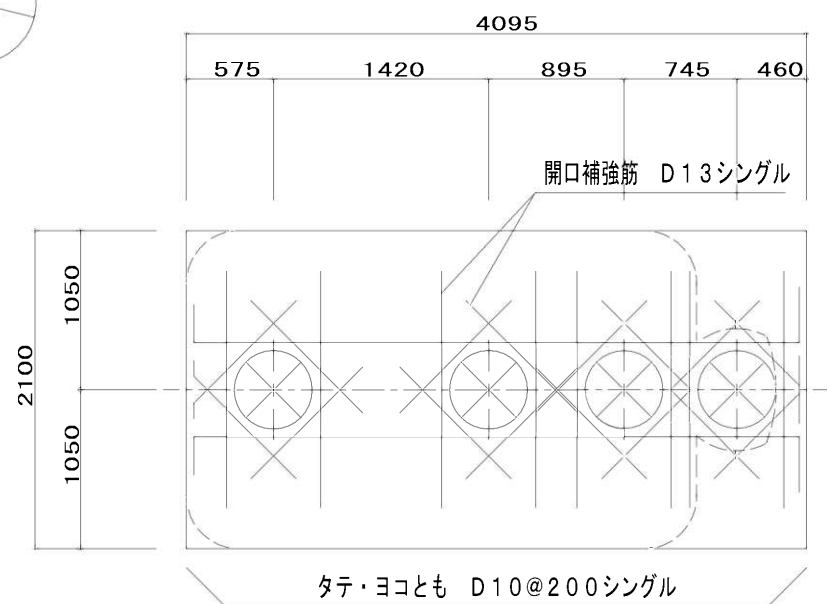
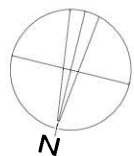
- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。接続工事は排水設備工事とする。
- 注2) 排気管の放出部は、側溝の最大水位より100mm以上 (目安) 上部に設置のこと。
- 注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。
- 注4) 排気管は途中で水溜りが起こるようなV字配管にしないこと。
- 注5) 電線管の両端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと。
- 注6) これらの処理を怠ると、浄化槽内で発生したガスが浄化槽内、および電線管の接続先付近に設置している設備・機器の金属類を腐食し、機器破損・障害の生ずるおそれがあります。

施工高さ範囲					
MH	項 目	嵩上高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法(この図面)	0H	GL-450	GL-260	2.140H
	最小寸法(嵩上)	50H	GL-510	GL-320	2.200H
	最大寸法	300H	GL-760	GL-570	2.450H
ボルト ロック	最小寸法	100H	GL-580	GL-390	2.270H
	最大寸法	300H	GL-780	GL-590	2.470H

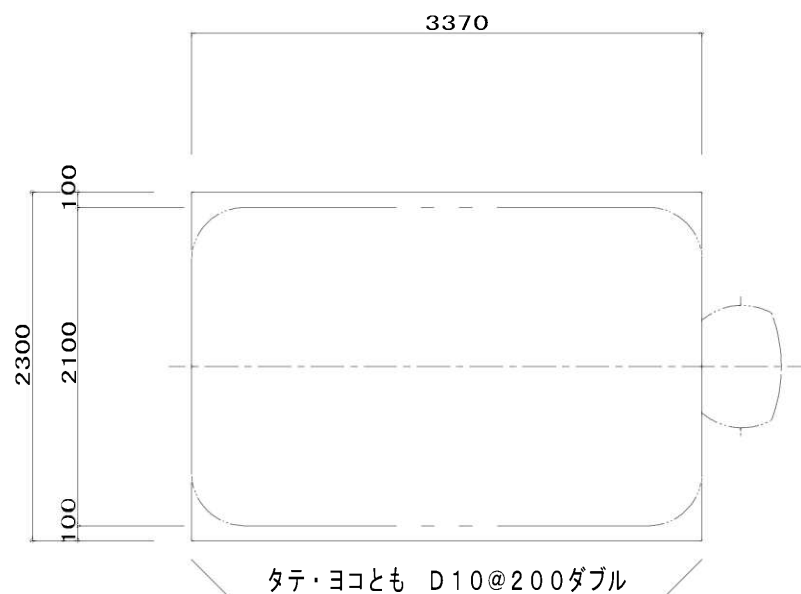
- 注) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。
- 流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

放流ポンプ付CV-25 (歩行者荷重)
浄化槽は25人槽、仕様寸法等は上記同等品とする。

工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事				No. A-11 A-13	(株)エスポ建築研究所 岡山県知事登録 第12961号 一級建築士 武田賢治 大臣登録 第176437号		
図面名	浄 化 槽 図			縮尺 1:100、1:40				
岡山市		都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年6月			
課長	課長補佐	係長	課員	担当者		承認	検図	製図



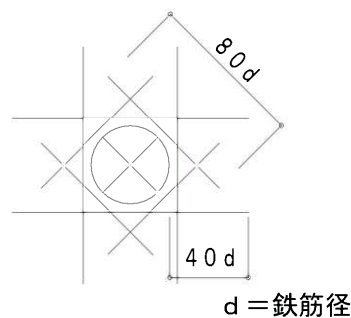
スラブ配筋図 S=1:100



ベース配筋図 S=1:100

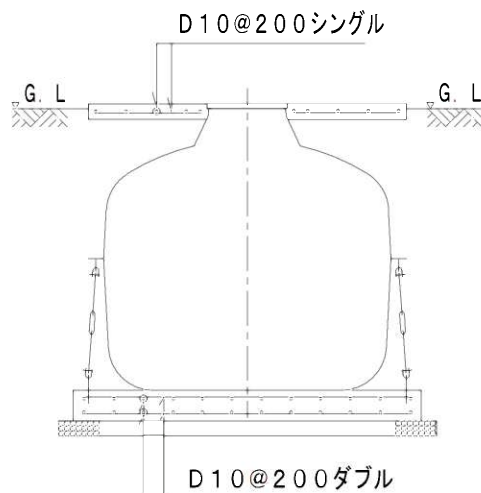
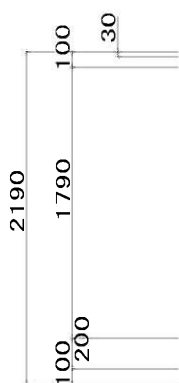
一般事項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地業	砕石又はRC 40~0

注1) 上部は歩行者荷重とする。
注2) 図中の”G. L”は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注3) 地耐力は40KN/m²以上必要とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)

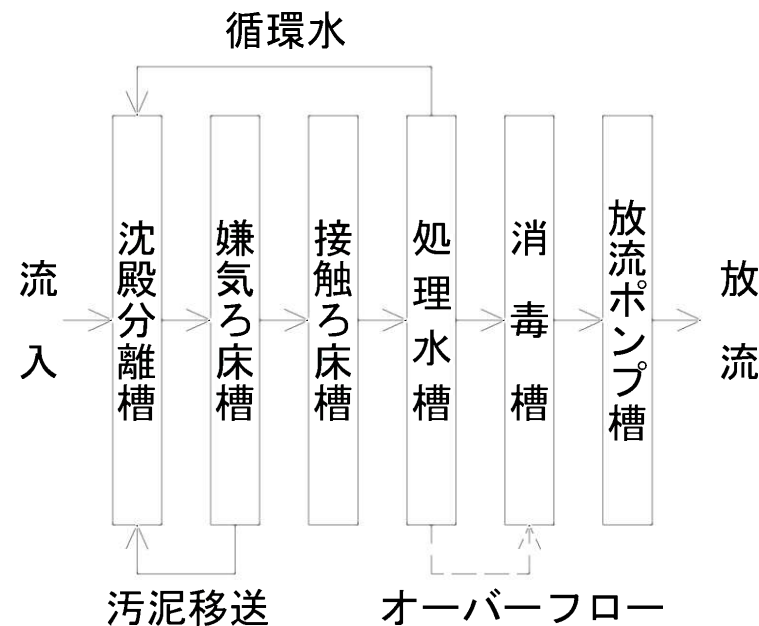


開口補強筋詳細図

(ダイヤモンド補強: D13シングル)



断面配筋図 S=1:100

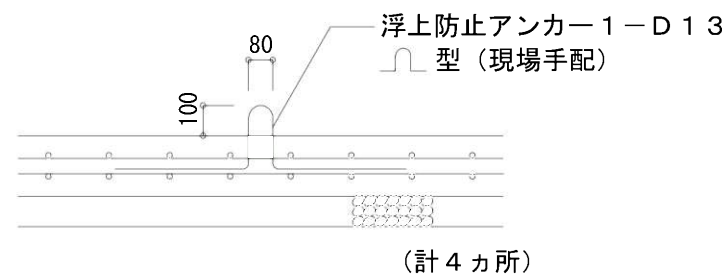


フローシート

施工高さ範囲					
MH	項目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法 (この図面)	0H	G. L-450	G. L-260	2140H
	最小寸法 (嵩上)	50H	G. L-510	G. L-320	2200H
	最大寸法	300H	G. L-760	G. L-570	2450H
ボルト ロック	最小寸法	100H	G. L-580	G. L-390	2270H
	最大寸法	300H	G. L-780	G. L-590	2470H

注) 製品全高は、製品規格で+10mm、-20mmの公差があります。
流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

地下水位がG L-1000mmより高いため、浮上防止金具の取付が必要となります。 ※浮上防止金具付の標準図にて施工をお願いします。

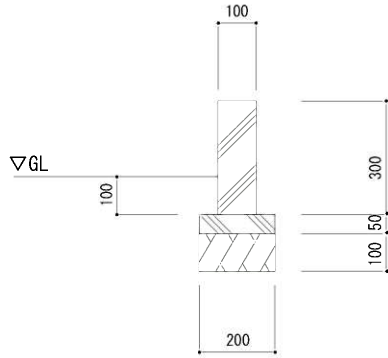


浮上防止アンカー詳細図

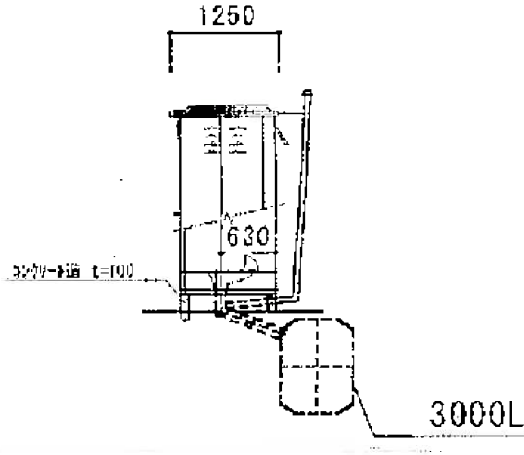
放流ポンプ付CV-25（歩行者荷重）							
桑野スポーツ広場トイレ改築工事				No.		(株)エスホ建築研究所	
図面名 浄化槽配筋図				縮尺	1:50	岡山県知事登録 第12961号	
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課				令和8年6月		一級建築士 武田賢治	
課長		課長補佐		係長		大臣登録 第176437号	
課員		担当者		承認		検図 製図	

既存ユニットトイレ 仕様表

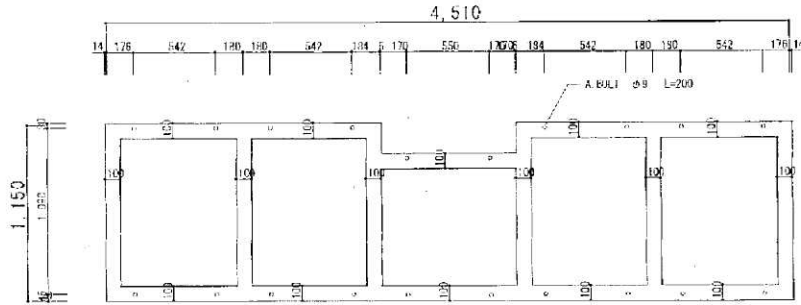
基 礎	コンクリート製 t=100
床 パネル	F R P 製
壁 パネル	アルミ複合版 t=3mm
照明パネル	F R P 製
ド ア	アルミ複合版 t=3mm
便 器	陶 器 製
紙 巻 器	A B S 製樹脂
便 槽	塩ビ製無臭便槽



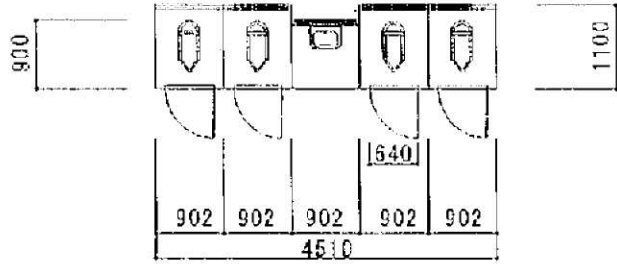
基礎断面図 S=1:20



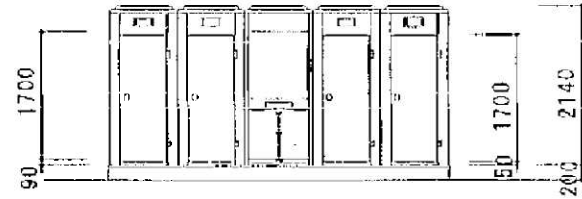
断面図 S=1:100



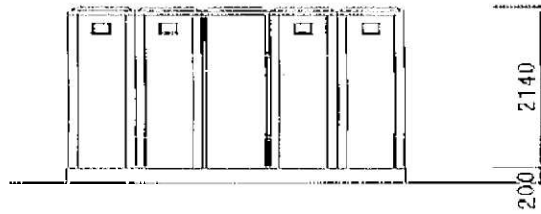
基礎伏図 S=1:50



平面図 S=1:100



南立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100

工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事				No. A-13 A-13	(株)エスホ建築研究所 岡山県知事登録 第12961号 一級建築士 武田賢治 大臣登録 第176437号		
図面名	既存ユニットトイレ図			縮尺 1:100, 1:50, 1:20				
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和8年6月				
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図	製図	

火災報知設備

1. 工 事 範 囲

2. 自 動 火 災 報 知 設 備

3. 非 常 警 報 装 置

4. 自 動 閉 鎖 設 備

5. ガ ス 漏 れ 警 報 設 備
(L P G)

6. 漏 電 火 災 警 報 設 備

7. 予 備 機 品

・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 撤去

・ 受信機 P 型 線 路 ・ GR 型 アドレス

・ 副受信機 線 回路

・ 自立型 ・ 壁掛型

・ 発信器、ベル、表示灯等の形式 ・ 一体型 ・ 複合装置 ・ 単機型

・ 防火戸 ・ 防火シャッター ・ 防煙ダンパー

・ 検知器 ・ 移動検点付

・ 受信機 回路

・ 認定品 ・ 非認定品

・ 1線認定品

電球、ヒューズ、プロテクターは ・ 製造者の標準一式

工具は ・ 製造者の標準一式

警備配管設備

1. 工 事 範 囲

2. 施 工 方 法

3. 電 源

4. 型 式 方 式

・ 配管 ・ 呼び線挿入 ・ 撤去

※ 図面参照

構内配電線路

1. 施 工 方 法

2. 地 中 箱

・ 地中線保護方式 ・ 厚膜電線管 ・ ポリエチレン被覆鋼管（外面一層型）

・ コンクリートトラフ ・ H I V E ・ 渡付硬質合成樹脂管

・ 架空電柱 ・ 遠心力鉄筋コンクリート柱 ・ 木柱（注込柱）

・ パンザーマスト ・ 垂絡めつき鋼管ポール

電柱名札 ・ 要 ・ 不要

支 線 ・ 垂絡めつき鋼より線

・ 埋設深さ ・ GL－600 ・ GL－300 ・ 路盤下－300以上（道路を除く）

・ 蓋の記号表示 ・ 線型読み込み（電線管適用）

① 機種取付高

機種取付高は下記を標準とする。ただし、監督員の指示により変更することがある。

名 称	測 点	取付高 (mm)	名 称	測 点	取付高 (mm)
取 引 用 計 器	地上～窓中心	1,800	火 災 警 報 機・副受信機	床 上 ～ 中 心	800～1,500
引 込 開 閉 器	床 上 ～ 中 心	2,100	火 災 専 用 総 合 盤	床 上 ～ 中 心	800～1,500
分 電 盤	床 上 ～ 中 心	1,500(上端1,900以下)	報 告 信 器	床 上 ～ 上 端	800～1,500
ス イ ッ チ	床 上 ～ 中 心	1,300	加 べ	床 上 ～ 中 心	2,300
コンセント（一般）	床 上 ～ 中 心	300	火 災 警 報 機 標 識 灯	床 上 ～ 中 心	2,100
コンセント（和室）	床 上 ～ 中 心	150	備 付 警 報 機 用 (LPG)	床 上 ～ 警 員 上 部	300以下
コンセント（台上）	台 上 ～ 中 心	150	備 付 形 スピーカー	床 上 ～ 中 心	2,300
コンセント（土間）	床 上 ～ 中 心	800	壁 付 量 測 器	床 上 ～ 中 心	1,300
ブラケット（土間）	床 上 ～ 中 心	2,100	表 示 器	床 上 ～ 中 心	2,300
ブラケット（路場）	床 上 ～ 中 心	2,000～2,500	壁 付 発 信 器	床 上 ～ 中 心	1,300
ブラケット（鏡上）	鏡 上 端 ～ 中 心	150	ブ ザ ー	床 上 ～ 中 心	2,300
身障者使用操作盤	床 上 ～ 中 心	1,100	壁 付 押 ボ タ ン (一 般)	床 上 ～ 中 心	1,300
身障者使用スイッチ	床 上 ～ 中 心	600～1,100	〃（身障者玄関）	床 上 ～ 中 心	900
壁 掛 形 制 御 盤	床 上 ～ 中 心	1500(上端1900以下)	〃（多目的使用）	床 上 ～ 中 心	900/400
手 元 開 閉 器	床 上 ～ 中 心	1,500	電 源 箱	床 上 ～ 中 心	1,500
操 作 ス イ ッ チ	床 上 ～ 中 心	1,300	示 壁 掛 形 親 時 計	床 上 ～ 中 心	1,500(上端1,900以下)
			子 時 計	床 上 ～ 中 心	2,300
			イ ン タ ー ホ ン 設 備		
			壁 付 ヴィオ（一般）	床 上 ～ 中 心	1,500
			壁 付 ヴィオ（身障者）	床 上 ～ 中 心	1,100
			壁 付 位置ボックス	床 上 ～ 中 心	300
			壁 付 位置ボックス(和室)	床 上 ～ 中 心	150
			機 器 収 納 箱	天 井 下 ～ 上 端	200
			直 列 ユ ニ ッ ト	床 上 ～ 中 心	300
			直 列 ユ ニ ッ ト (和室)	床 上 ～ 中 心	150
			テ レ ビ 共 用 受 信		

② 配線記号その他

※ 図中配線で寸法記入のないものは、下記による。又、非標準対策型電線・ケーブルの場合はVを追記する。（例）VVF）

イ. 電線設備の場合

電線管は ・ 埋設 ・ おなじし とする。

1.6×2(19)

1.6×3(19)

1.6×4(25)

2.0×2(19)

F2

EEF1 6-2C

F3

EEF1 6-3C

F2E

EEF1 6-2C 1E1 6

F4

EEF1 6-2C×2

F5

EEF1 6-2C+EEF1 6-3C

2F2

EEF2 0-2C

2F2E

EEF2 0-2C 1E1 6

F6

EEF1 6-3C×2

F7

EEF1 6-3C+EEF1 6-2C×2

2F3

EEF2 0-3C

ロ. 動力設備の場合

1.6×3(19)

ハ. 電気計器・拡声設備の場合

1.2×2(19)

1.2×3(19)

1.2×5(19)

※ 照明器具用設置ボックスの位置

・ 非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。

※ 予備電源別置型の非常照明は、器具内の送り端子を使用時は、配線と同様に耐熱耐腐蝕を満足すること。

上記により異なる場合は、分岐ボックスを設置し、端末配線処理を行うこと。

工事名

岡野スポーツ広場トイレ改築工事

N o.

E-01

図面名

岡山市建設設備工事（電気）仕様書

編 尺

02

岡山市

都市整備局

住宅・建築物

公共建築課

令和 8年 6月

課長

課長補佐

係長

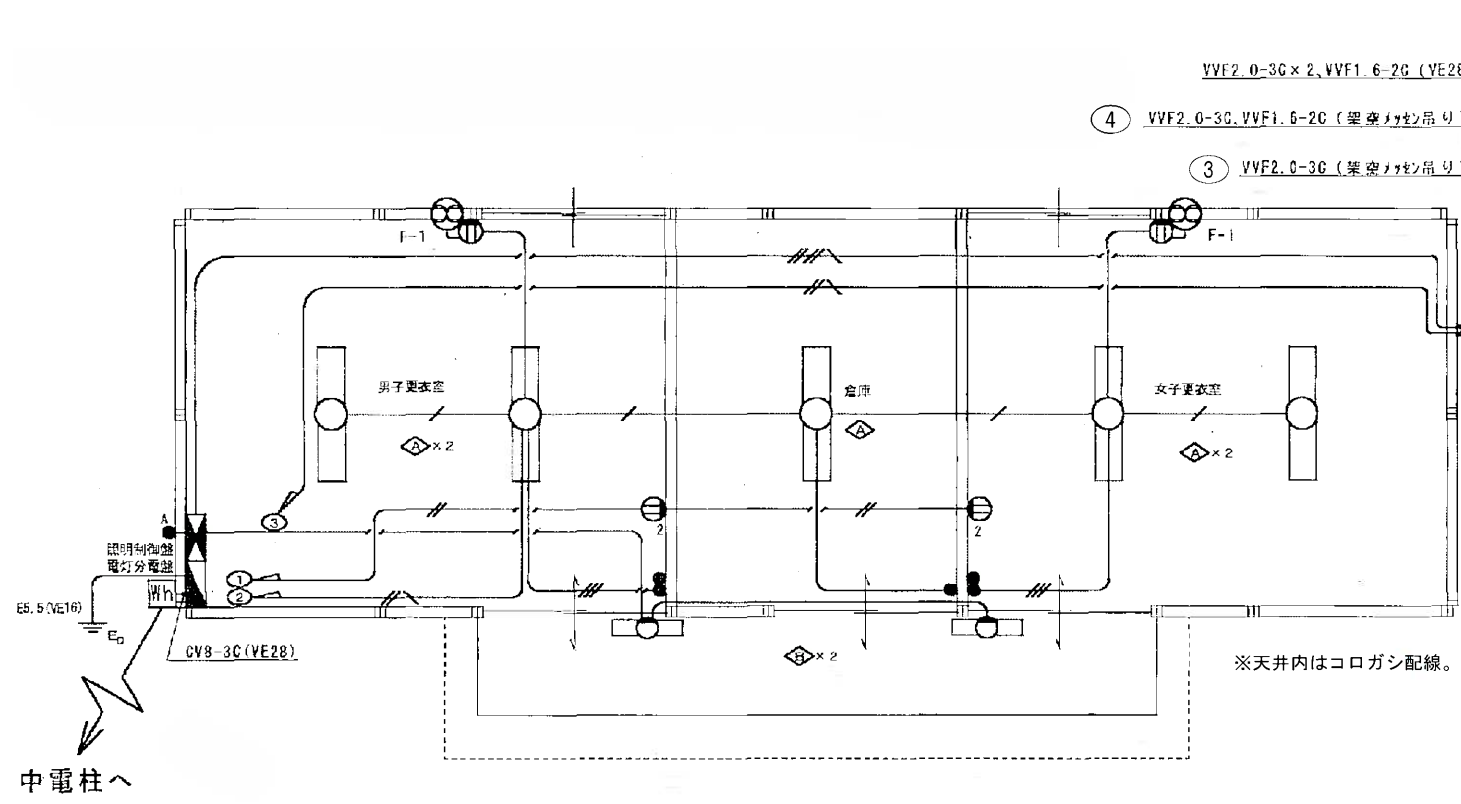
課長

担当

承認

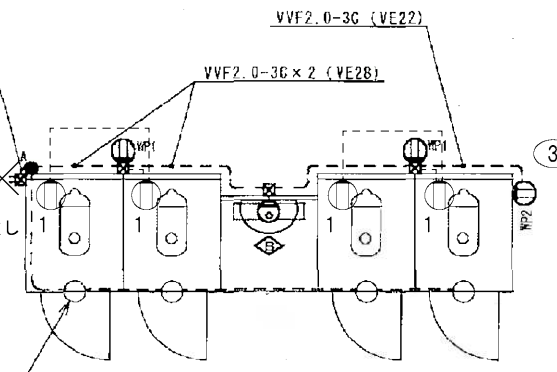
検印

製図



平面図 S = 1 / 5 0

※下図ユニット便所電気設備撤去



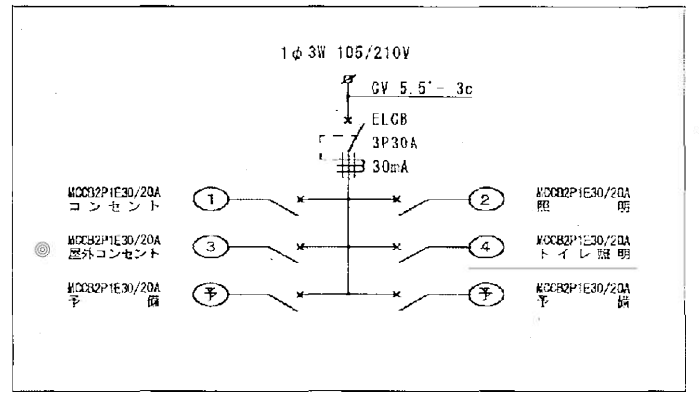
便所4室付属のレセプタクルに配線 VVF1.6-2C(VE16)付。
電球60W (4個) 付。

特記なき配線は下記による

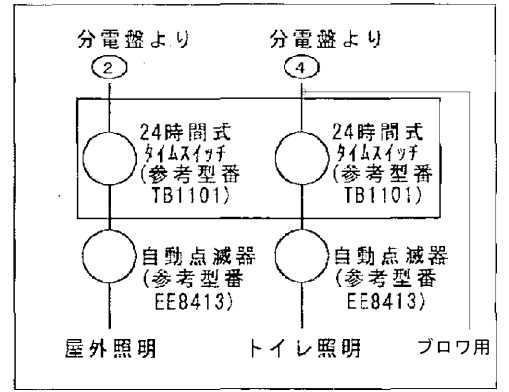
	VVF1.6-2C
	VVF1.6-3C (1c7-ス)
	VVF2.0-2C
	VVF2.0-3C (1c7-ス)
	VVF1.5-3C
	VVF1.6-2C x 2
	VVF2.0-3C, VVF1.6-2C

凡例

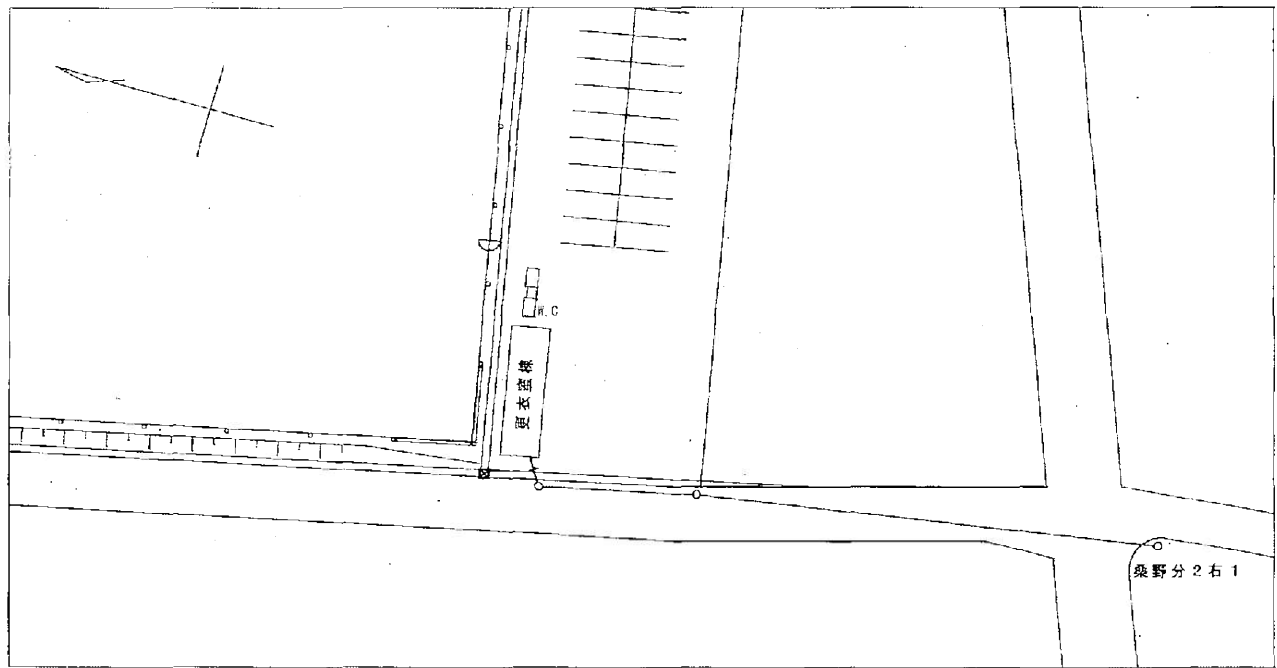
	75mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)
	100mm x 100mm x 75mm (VE)



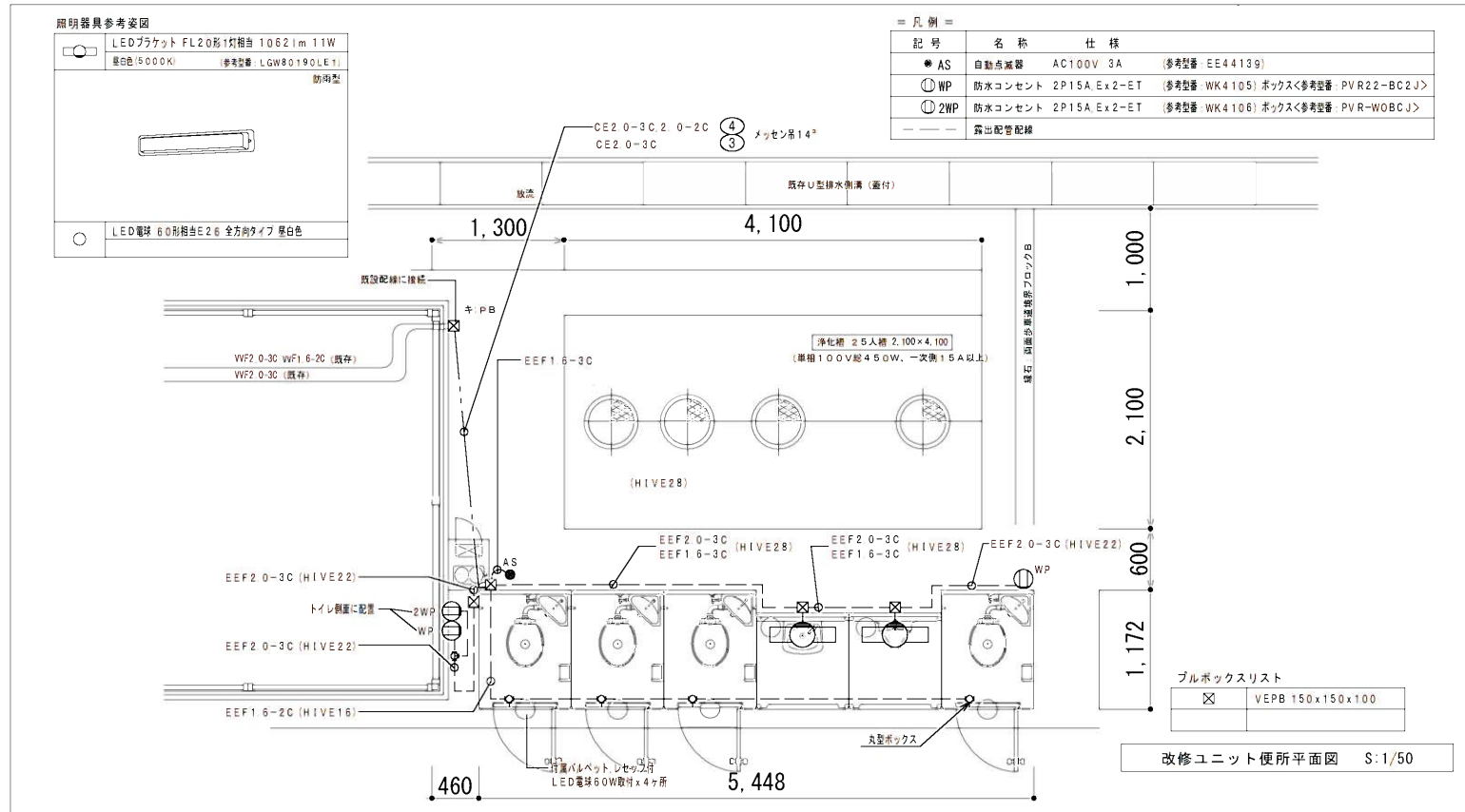
既設電灯分電盤 単線結線図



既設照明制御盤 単線結線図

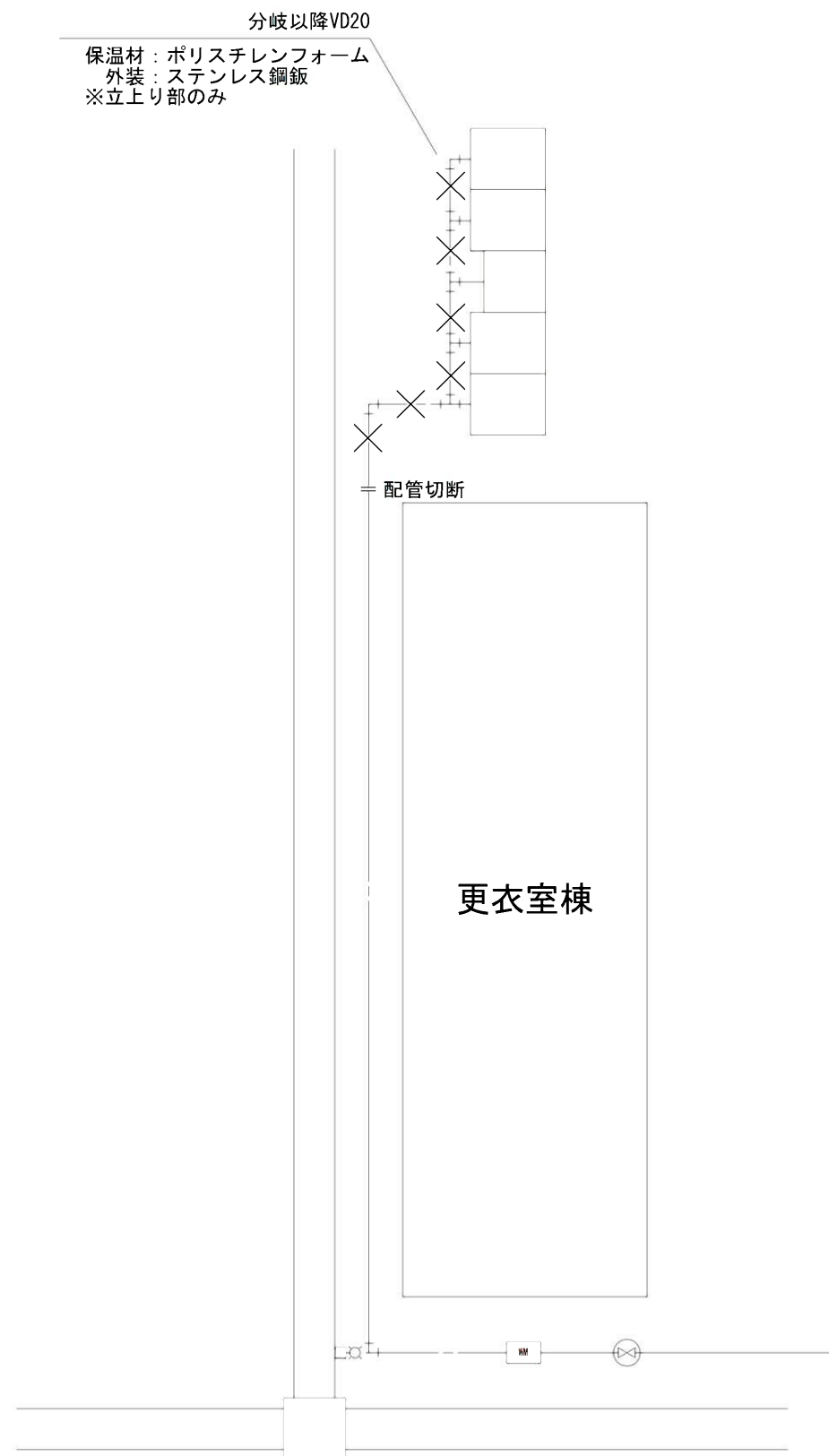


配置図 S = 1 / 5 0 0

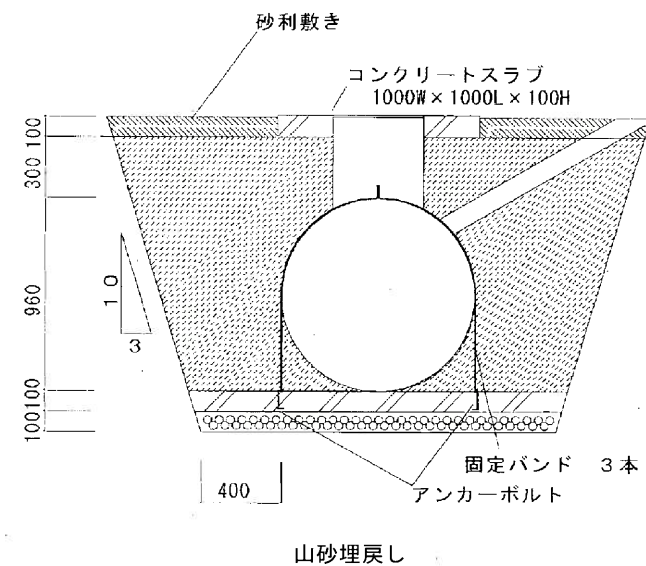


工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事	No.	
図面名	電気設備図(撤去、新設)	1/50	
岡山市	都市整備局 住宅・建設部 公共建築課	令和 8年 6月	
課長	課長補佐 係長 課員	担当者	承認 検図 製図

[illegible]



便槽断面図

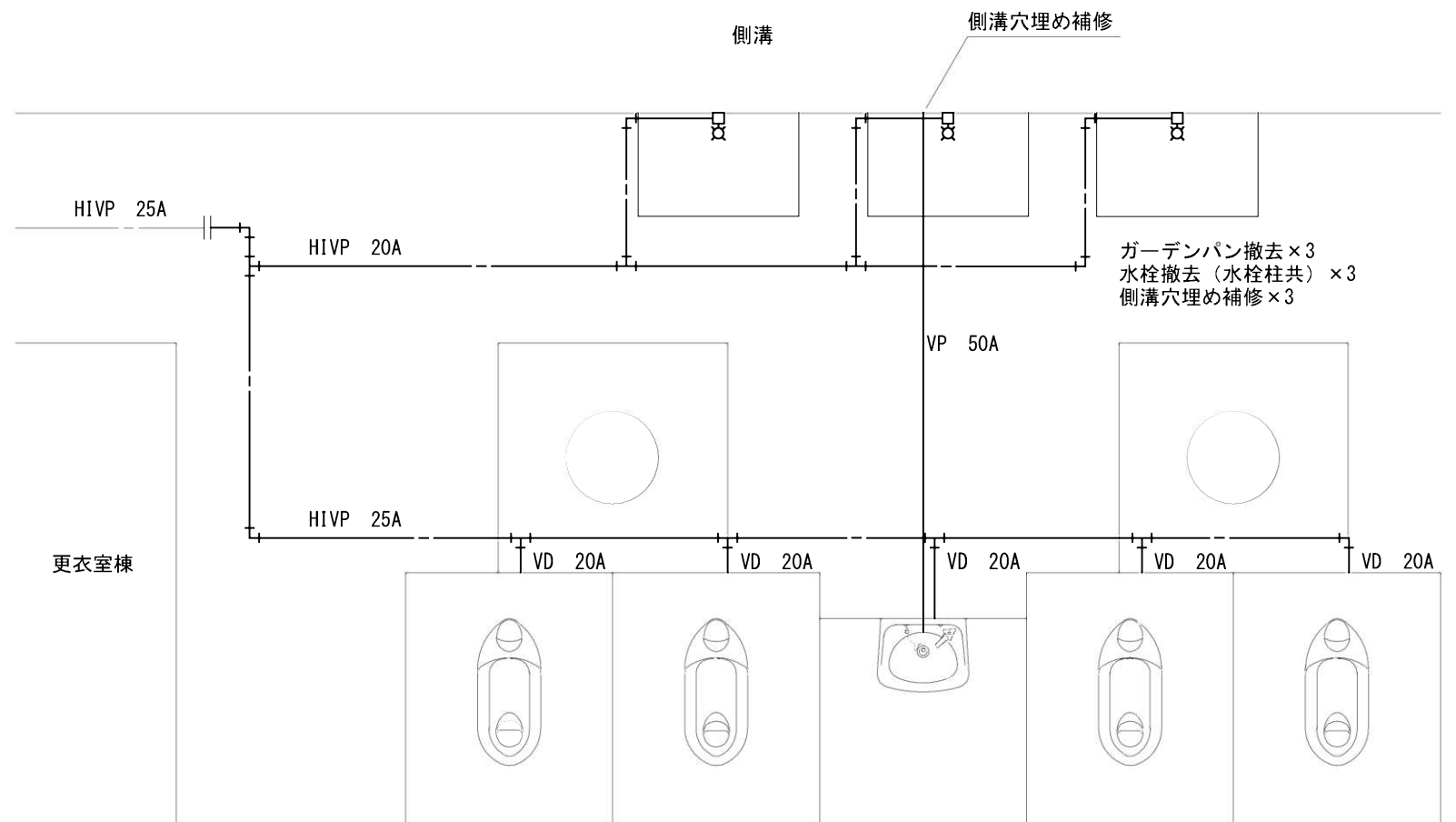


【撤去】

便槽仕様（ネポン（株） TNY-U型特殊便槽）

容量	3000L (960φ×4300)
排便口	4口 (臭突・便器接続配管含む)
汲取口	2口 (施錠付き鉄蓋)

給排水撤去図 1/30



工事名	桑野スポーツ広場トイレ改築工事				N o.		
図面名	配置図、便槽断面図、給排水撤去図		縮尺	A3: 1/100 1/30	M-02		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和 6年 6月	M-03		
課長	課長補佐	副課長	課長	担当審	承認	検印	製印

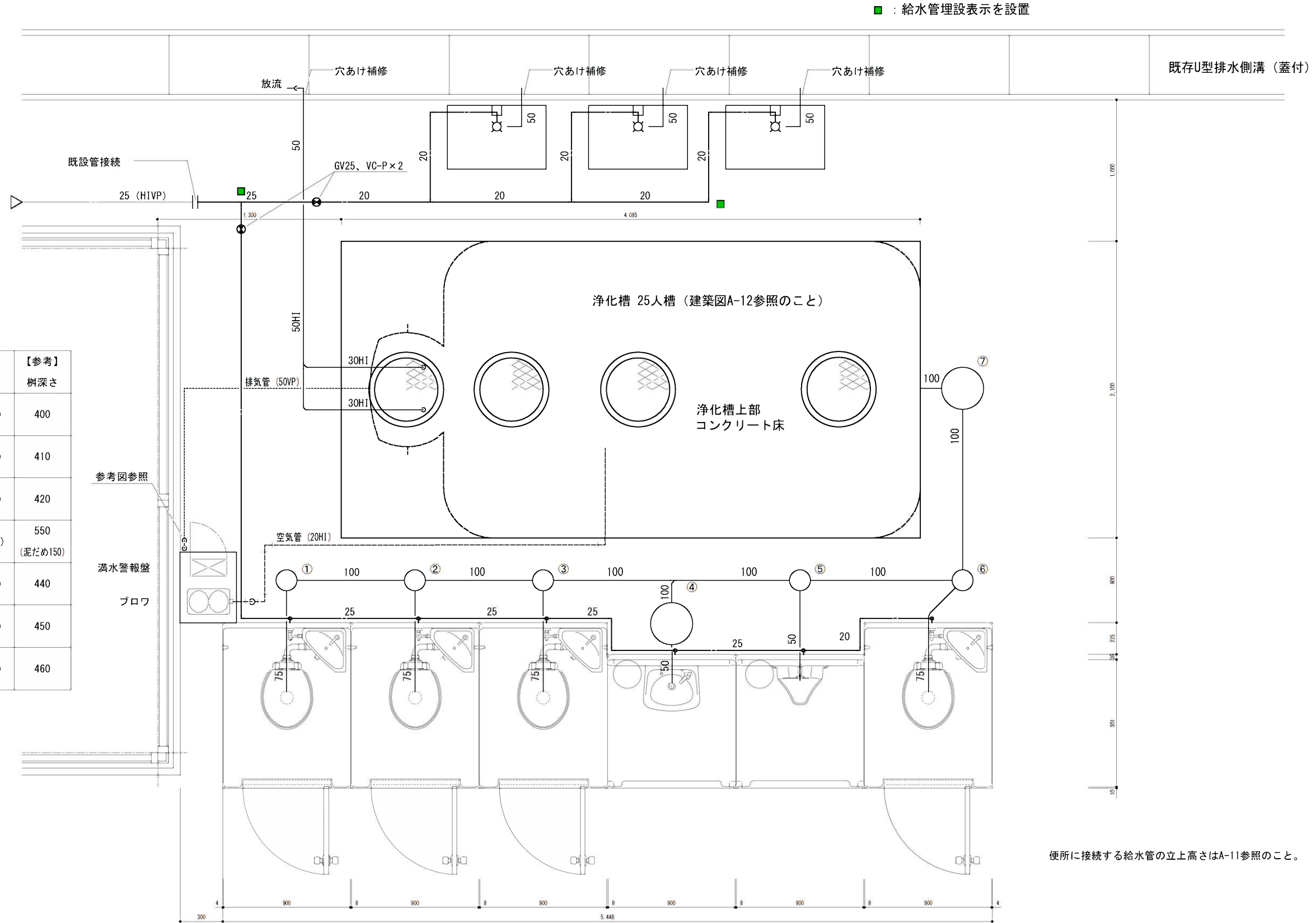
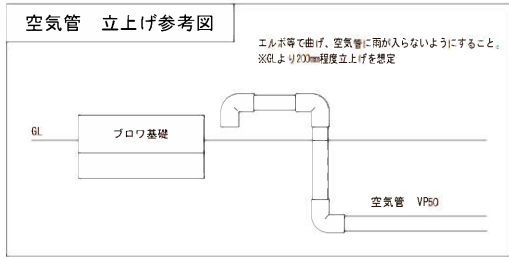
新設器具リスト

水栓柱	13φ（水栓共）	3ヶ
ガーデンパン	FRP600型	3ヶ

樹リスト

番号	樹名称	樹径	樹種類	蓋種類	【参考】 樹深さ
①	インバート樹	φ150	90L	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	400
②	インバート樹	φ150	90Y	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	410
③	インバート樹	φ150	90Y	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	420
④	トラップ樹	φ300		レジコン蓋（密閉式）	550 （泥ため150）
⑤	インバート樹	φ150	90Y	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	440
⑥	インバート樹	φ150	90Y	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	450
⑦	インバート樹	φ300	90L	塩ビ蓋（SUS製鎖付）	460

※浄化槽位置を基準に樹の位置を決定すること。
※樹及び浄化槽の深さは、現地調査を十分に行い、決定すること。



便所に接続する給水管の立上高さはA-11参照のこと。

給排水新設図

工事名 桑野スポーツ広場トイレ改築工事				No.		（株）エスエス建築研究所 岡山県知事登録 第12961号	
図面名 給排水新設図		縮尺 A3：1/30	M-03		一級建築士 武田賢治 大匠登録 第176437号		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 8年 6月		M-03			
課長	課長補佐	所長	課長	担当	承認	検印	製図